

「コピペ」で作るリポジトリ

- はじめてのインストール Linux 版 -

奈良大学図書館 磯野 肇



ハードウェアの準備

- 普通のパソコンを用意
 - CPU:Pentium 4 1.8GB
 - メモリ:512MB
 - ディスク:60G × 2
- Windows Xp が動くものであれば十分
- DVD・CDドライブから起動

ハードウェア



LINUXインストールディスク準備

- 様々な種類・ディストリビューション
- 今回はCentOSを準備(5.1)最新は5.2
- 雑誌・解説書についているDVD・CDを用意

インストールの前にメモする①

- <ネットワーク設定>
 - サーバーのホスト名(コンピュータ名):
 - サーバーの固定IPアドレス:
 - サブネットマスク:
 - DNS(ネームサーバ)のIPアドレス:
 - デフォルトゲートウェイIPアドレス:
 - プロキシサーバーの有無、ポート番号、パスワード等:
- <サーバーのアカウント設定>
 - rootユーザーのパスワード:
 - 一般ユーザーのID:
 - 一般ユーザーのパスワード:

インストールの前にメモする②

- <Mysqlのアカウント>
 - rootユーザーのパスワード:
 - 《(EUC)の場合》
 - XOOPSデータベースの名前(EUC):xoops
 - XOOPSデータベースユーザーのID(EUC):xoops
 - XOOPSデータベースユーザーのパスワード(EUC):
 - 《(UTF8)の場合》
 - XOOPSデータベースの名前(UTF8):xoops8
 - XOOPSデータベースユーザーのID(UTF8):xoops8
 - XOOPSデータベースユーザーのパスワード(UTF8):
- <XOOPSのアカウント>
 - XOOPSサイト管理者のID:
 - XOOPSサイト管理者のパスワード:
 - XOOPSサイト管理者のメールアドレス:



インストールの手順

- CentOS (LINUX) インストール・設定
- 必要ソフトウェアインストール・設定
(apache・mysql・PHP)
- XOOPSインストール・設定
- XooNIpsインストール・設定
- Libraryモジュールインストール・設定
- サーバ・利用者ごとにカスタマイズ

CentOSのインストール①

- <CentOSインストール開始前画面>
- <言語の選択>
- <キーボード>
- <初期化>
- <パーティション>
- <ネットワークデバイス> あらかじめメモしたものを入力
- <タイムゾーン>
- <rootパスワードの設定> あらかじめメモしたものを入力
- <インストールパッケージの選択>
 - <デスクトップ>
 - <アプリケーション>
 - <開発>
 - <サーバー>
 - <ベースシステム>
 - <仮想化>
 - <クラスタリング>
 - <クラスタストレージ>
 - <言語>
- <インストール開始>
- <システム再起動>



CentOSのインストール②

- 「ようこそ」画面が表示される
- <SE Linux>
- <ファイアウォール>
- <Kdump>
- <時刻>
- <ユーザー作成>
 - あらかじめ決めた一般ユーザーのIDとパスワードを入力してユーザーを1つ作る
- <サウンドカード>
- <追加のCD>
- <システム再起動>

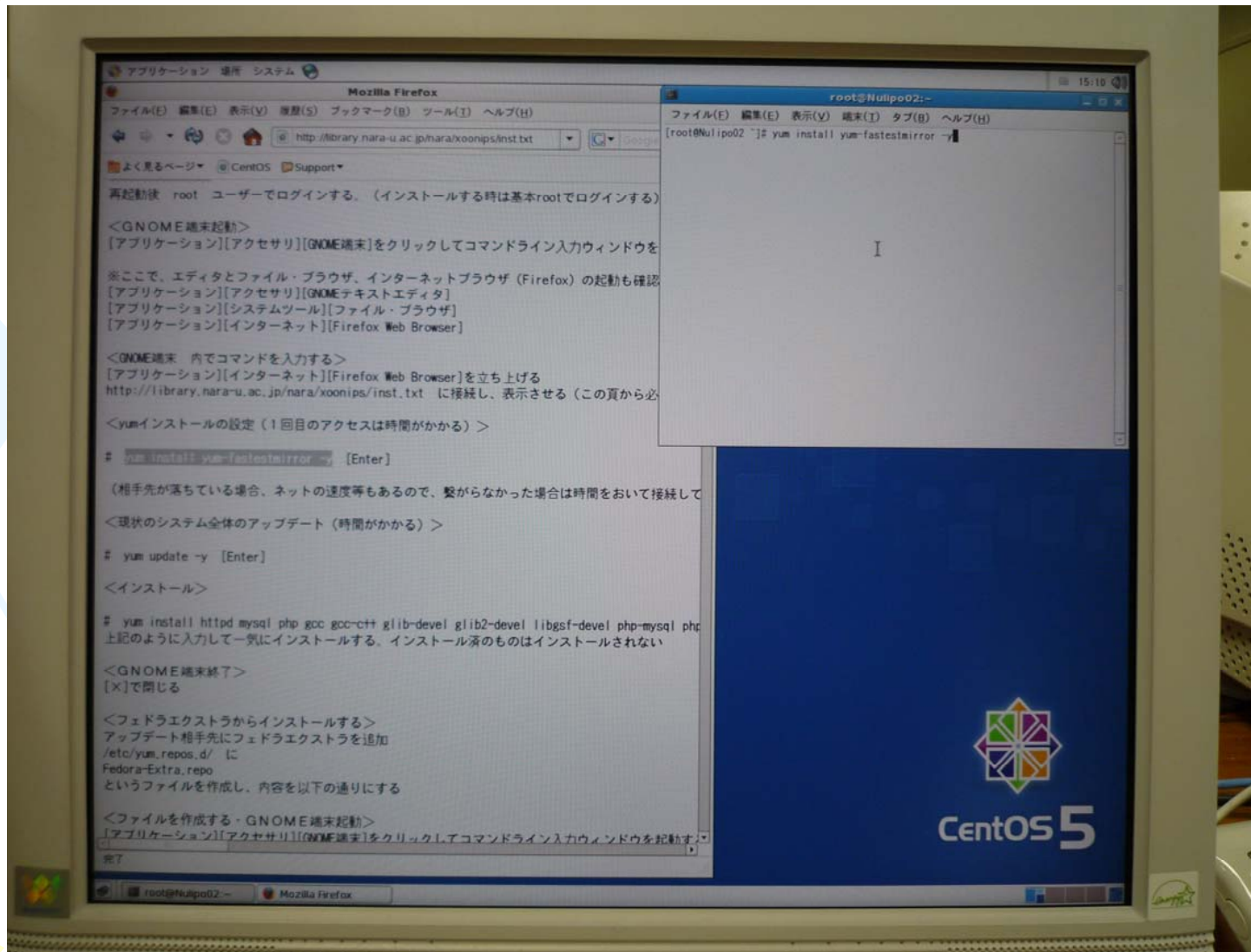
CentOSの設定①

- 再起動後、root ユーザーでログインする。
- [システム][管理][サービス]から
 - Sendmail yum-updatesd サービスのチェックを必ず外す
 - その他必要でないものはチェックを外す
- <ネットワーク設定>
 - インターネットに接続できるようにする
 - [システム][管理][ネットワーク]から、ホストタブでホスト名以外の全ての名前前のものを消す
- <プロキシサーバーを使う場合は設定する>
 - [システム][設定][ネットワークのプロキシ]でプロキシサーバーを設定する
- <ファイルフォックスのプロキシを設定する。>
 - [アプリケーション][インターネット][Firefox Web Browser]でFirefoxを起動
 - ファイルフォックスの[編集][設定][接続設定]ボタンをクリックしてプロキシサーバーを設定する
- <システム再起動>
- [システム][シャットダウン][再起動]で再起動する

インストール作業①

- 再起動後 root ユーザーでログインする。(インストールする時は基本rootでログインする)
- <GNOME端末起動>
 - [アプリケーション][アクセサリ][GNOME端末]をクリックしてコマンドライン入力ウィンドウを起動する。
 - ※ここで、エディタとファイル・ブラウザ、インターネットブラウザ (Firefox) の起動も確認しておく(これからよく使う)
 - [アプリケーション][アクセサリ][GNOMEテキストエディタ]
 - [アプリケーション][システムツール][ファイル・ブラウザ]
 - [アプリケーション][インターネット][Firefox Web Browser]
- <GNOME端末 内でコマンドを入力する>
 - [アプリケーション][インターネット][Firefox Web Browser]を立ち上げる
 - <http://library.nara-u.ac.jp/nara/xoonips/inst.txt> に接続し、表示させる(この頁から必要コマンドをコピーして貼り付ける)

インストール作業①'



インストール作業②

- <yumインストールの設定(1回目のアクセスは時間がかかる)>
 - # yum install yum-fastestmirror -y [Enter]
- <現状のシステム全体のアップデート(時間がかかる)>
 - # yum update -y [Enter]
- <インストール>
 - # yum install httpd mysql php gcc gcc-c++ glib-devel glib2-devel libgsf-devel php-mysql php-gd php-mbstring php-devel php-xml php-pear php-pecl-Fileinfo poppler-utils lynx mysql-server wget make -y [Enter]
 - 上記のように入力して一気にインストールする。インストール済のものはインストールされない

インストール作業③

■ <フェドラエクストラからインストールする>

- アップデート相手先にフェドラエクストラを追加<複数手順の作業あり>

• <インストール>

- # yum install xlhtml xpdf wv -y [Enter]

• <サービス設定>

- [システム][管理][サービス]から
- httpd
- mysqld
- サービスをチェックする
- [保存]ボタンをクリックする
- [×]で閉じる

• <システム再起動>

基本設定作業①(Apache)

■ 【Apacheの設定】

- <etc/httpd/conf/ の httpd.confの編集>
- <バックアップを取る>
 - # cp -p /etc/httpd/conf/httpd.conf /etc/httpd/conf/httpd.conf.org
[Enter]
- <ファイル内容を修正する>
 - # gedit /etc/httpd/conf/httpd.conf [Enter]
 - エディタが立ち上がる
- <修正する(EUC)>
 - AddDefaultCharset UTF-8
 - ↓
 - # AddDefaultCharset UTF-8
- <修正する(UTF8)>
 - 修正箇所なし
- <httpdを再起動する>
 - [システム][管理][サービス]の httpd サービスをグレーダウンする
 - [再起動]ボタンをクリックする
- <動作確認>
 - Firefox で http://IPアドレス/ で確認画面が表示されるとOK

基本設定作業②-1 (mysql)

■ 【MySQLの設定】

- </etc/my.cnfの編集>
- <バックアップを取る>
 - # cp -p /etc/my.cnf /etc/my.cnf.org [Enter]
- <ファイル内容を修正する>
 - # gedit /etc/my.cnf [Enter] エディタが立ち上がる
- <以下のようにする(EUC)>
 - [mysqld]セッションに以下の2行をコピーする
 - default-character-set = ujis
 - skip-character-set-client-handshake
- <以下のようにする(UTF8)>
 - [mysqld]セッションに以下の2行をコピーする
 - default-character-set = utf8
 - skip-character-set-client-handshake
- <my.cnfを保存して終了する>
- <mysqlの再起動>
 - [システム][管理][サービス]からmysqldサービスをグレーダウンする
 - [再起動]ボタンをクリックする

基本設定作業②-2 (mysql)

- <MySQLユーザーの設定>
- <ユーザーとパスワードの確認>
- <mysqlの root ユーザーにパスワード設定>
- <匿名ユーザーがいる場合は削除する> <不要ユーザーがある場合は削除する>
- <データベースの確認> <testデータベースの削除>
 - ※information_schema と mysql は絶対に消さない。Mysqlが動かなくなります
- <xoopsデータベースの作成: データベース名: xoops (EUC) >
 - mysql> create database xoops character set ujis; [Enter]
 - <xoopsユーザーの作成・パスワードの設定>
 - mysql> grant all privileges on xoops.* to xoops@"localhost" identified by "****"; [Enter]
 - (****に実際のパスワードを入力する)
- <xoops8データベースの作成: データベース名: xoops8 (UTF8) >
 - mysql> create database xoops8 character set utf8; [Enter]
 - <xoopsユーザーの作成・パスワードの設定>
 - mysql> grant all privileges on xoops8.* to xoops8@"localhost" identified by "****"; [Enter]
 - (****に実際のパスワードを入力する)
- <ユーザーとパスワードの確認>
- <mysqlの終了>
- <mysqlの再起動>

基本設定作業③(PHP)

■【PHPの設定】

- <PHPの動作確認>
- <PHPの設定変更>
- <バックアップをとる>
 - # cp -p /etc/php.ini /etc/php.ini.org [Enter]
- <ファイル内容を修正する>
- # gedit /etc/php.ini [Enter]
 - エディタが立ち上がるので検索して5項目を修正 (EUC・UTF-8共通)
 - EUCで設定する場合、2項目追加で修正
- <php.iniを保存して終了する>
- <httpdを再起動する>

XOOPSのインストール①

■ 【XOOPSインストール】

• <(EUC)の場合>

- インターネットブラウザ(Firefox)で
- <http://xoopscube.jp/> の 今すぐダウンロード からXOOPSのtar.gz・ZIPをデスクトップにダウンロードし、右クリックでその場で展開する
- 展開したフォルダの html フォルダを丸ごとファイル・ブラウザで /var/www/html に上書きコピーする

• <(UTF8)の場合>

- インターネットブラウザ(Firefox)で
- <http://xoopscube.jp/> の 今すぐダウンロード からXOOPSのtar.gz ZIPをデスクトップにダウンロードし、右クリックでその場で展開する
- 展開したフォルダの /Package_Legacy/html フォルダを丸ごとファイル・ブラウザで /var/www/html に上書きコピー(置き換え)する
- 展開したフォルダの /Package_Legacy/Extras/extra-languages/ja-utf8/html フォルダを丸ごとファイル・ブラウザで /var/www/html に上書きコピー(置き換え)する

XOOPSのインストール②

- <パーミッション(権限)を変更>
 - [アプリケーション][アクセサリ][GNOME端末]をクリックしてコマンドライン入力ウィンドウを起動する。
 - # chmod 777 /var/www/html/uploads [Enter]
 - # chmod 777 /var/www/html/cache [Enter]
 - # chmod 777 /var/www/html/templates_c [Enter]
 - # chmod 666 /var/www/html/mainfile.php [Enter]
- Firefoxで http://IPアドレス/ と入力してインストールを開始する。
 - ※Mysqlデータベース名・ユーザー名など入力
 - ※UTF8でインストールする場合はインストールする言語を選択してください、で、「**ja-utf8**」を選択してインストールする。
- 【XOOPSインストール後の後始末】
- <フォルダ削除>
 - /var/www/html/xoops/install/ フォルダを削除する。(ファイル・ブラウザで行なう)
- <コマンドラインからパーミッションを変更する>
 - # chmod 404 /var/www/html/xoops/mainfile.php [Enter]

XooNIpsのインストール

■ 【XOOPS以外のモジュール設定】

• <XooNIpsモジュールの取得>

- <http://xoonips.sourceforge.jp/modules/mydownloads/> からXooNIpsのtar.gzをデスクトップにダウンロードし、右クリックでその場で展開する
- 展開フォルダ内にxoopsフォルダがあるので、丸ごと /var/www/html/modules/ 内にコピーする

• <XooNIps-libraryモジュールの取得>

- <http://sourceforge.jp/projects/xoonips-library/releases/> から xoonips-libraryのtar.gzをデスクトップにダウンロードし、右クリックでその場で展開する
- 展開フォルダを丸ごと /var/www/html/modules/ 内にコピーする

• <インストール>

- XOOPS管理者でログインし、[管理メニュー][システム管理][モジュール管理]からモジュールという形でインストールする。「i」と書いていないボタンをクリックして次の画面の[インストール]ボタンをクリックすると完了。

• <ファイルアップロードディレクトリの変更>

- ファイルアップロードディレクトリ を /var/data に変更する。

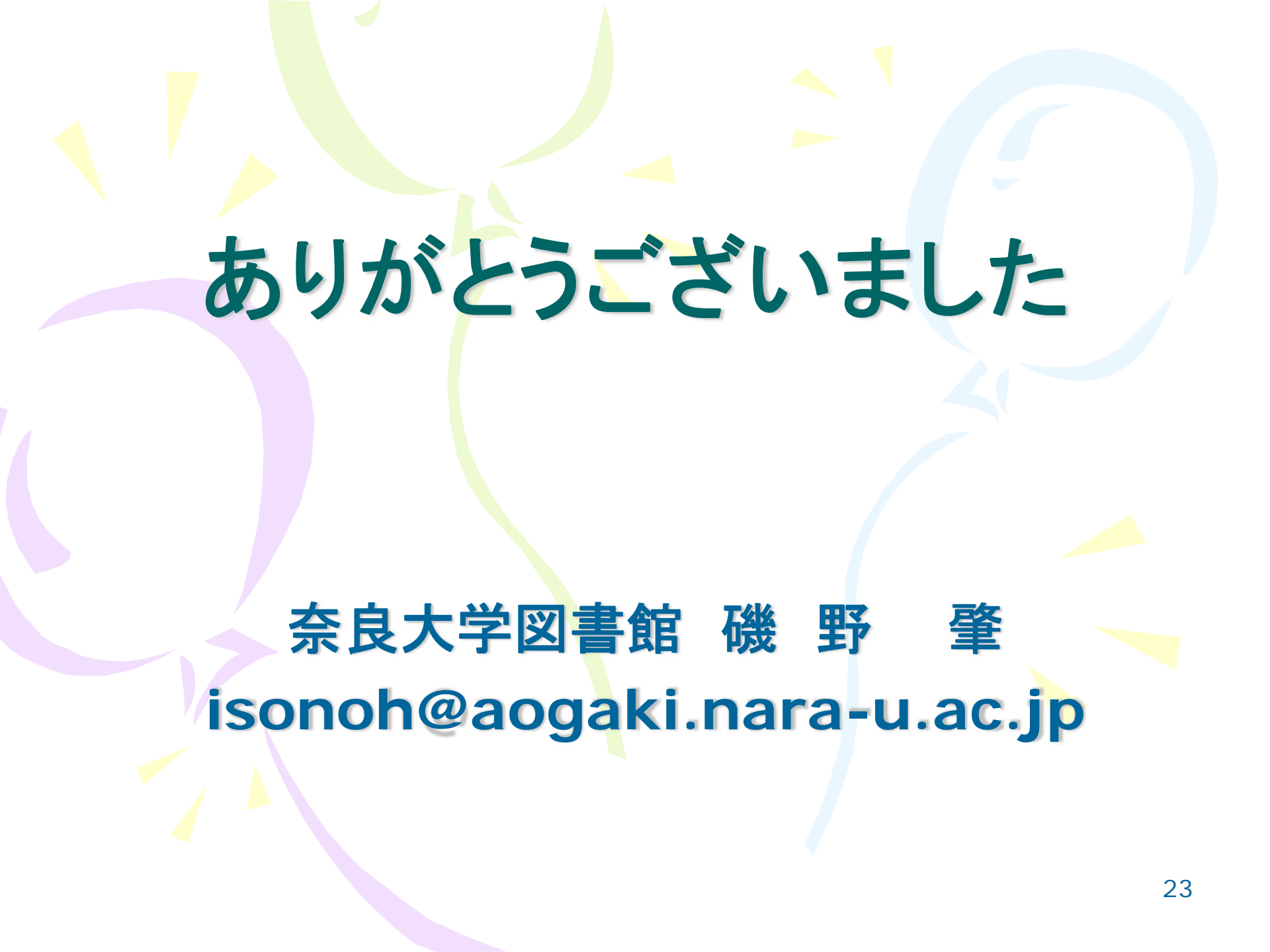
• </var/に /data フォルダを作成する>

- # mkdir /var/data [Enter]
- # chmod 777 /var/data [Enter]

サーバ公開

■ 【公開にあたって】

- XooNipsでは、サーバー外よりhttpdで設定しているポートからのみアクセスが行われるためそのポート(標準では80番)を外向けに解放する必要がある。
- SELinuxの設定も容易にできるが、ここに引っかかる可能性もあるため、インストール時はファイアウォール同様に停止しておいた方が良い。
- サーバー内では、標準で3306番ポートによりphpからMySQLへのアクセスがある。要解放。
- バックアップは少なくとも以下をとること
 - 1. データ格納フォルダ(例:/var/data以下)
 - 2. Webコンテンツ(例:/var/www以下)
 - 3. データベース(例:/var/mysql以下 ただしmysqldを停止中にする)
 - 4. 各種設定ファイル(httpd.conf php.ini my.cnfなど)



ありがとうございました

奈良大学図書館 磯野 肇

isonoh@aogaki.nara-u.ac.jp